

○Web サイトにオプトアウトする書式

「救命救急センター入院患者の持参薬鑑別業務においてオンライン資格確認の活用の検討」

○研究の概要と目的

入院患者さんのご自宅で服用されているお薬を確認することは、安全な薬物治療を行っていくためにはとても大切なことです。特に、救急医療では、限られた時間の中で知り得た情報から治療を開始しなければならないことも多く、患者さんの正確な情報が必要です。2023年4月より導入されたオンライン資格確認システムは、患者さんの同意が得られれば、患者さんのお薬に関する情報を確認することができます。そのため、お薬確認が迅速で不要な処方や重複投与を回避でき、また、患者さんが医療従事者からの問診へ対応する負担の軽減につながるといわれています。また、2025年12月から、意識不明など話すことが難しい状況でも、患者さんの同意なしにお薬に関する情報を確認できる救急時医療情報閲覧機能が新しく追加になり、さらに迅速な情報取得が期待されています。

今回、新しい機能を使わず、既存のオンライン資格確認システムを活用することで、救命救急センター入院患者のお薬確認が迅速に行うことができると考えました。救命救急センター入院患者さんの持参薬鑑別業務に、オンライン資格確認システムを活用し、課題を具体的に明らかにすることで、患者さんのより良い安全な医療の提供に貢献できると考えます。

○研究の方法

本研究では、オンライン資格確認の同意が得られた救命救急センター入院患者さんを対象としています。通常診療で実施している持参薬鑑別報告時間、オンライン資格確認同意取得時間を電子カルテから抽出し、また、閲覧可能なオンライン資格確認処方歴を参照し持参薬鑑別報告の内容変更が必要となる件数を集計します。

○本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。本研究にご自身のデータを研究に使わないでほしいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

○調査する内容

本研究は、新たに試料・情報を取得することではなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。研究対象者（患者さん）の個人情報（氏名、住所、電話番号、カルテ番号など）は記載せず、対応表を作成して管理しますので、個人情報は特定されません。

○実施期間

研究対象期間：令和 7年 11月 1日～令和 8年 1月 31日まで

研究実施期間：倫理委員会承認後～令和 8年 3月 31日まで

○研究成果の発表

調査した患者さんのデータは、集団として分析し、学会や論文で発表します。また、個々の患者さんのデータを発表するときも、個人が特定されることはありません。

○研究代表者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 勝目 泰慎

○当院における研究責任者

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 勝目 泰慎

○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 薬剤部 電話：096-353-6501（代表）